続花頭巾（1956）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1956/11/07

【解説】
同じ年に公開された「花頭巾」の後篇で、前編と同じく田坂勝彦がメガホンをとった。脚本は「月形半平太」の犬塚稔。前篇の解説（あらすじ）の後に本編が始まる構成になっている。
久米寺舜馬たちに追い詰められた由美だったが、信念を曲げない態度を見せ、彼らを退かせることに成功。死んだと思われた姉の奈美が生きていることを知り、監禁されているという名古屋城へ向かった。無事に姉と再会した由美は、京へ入り一味の居所を探り当てる。弦太郎と朱童子は舜馬の屋敷に入り込み、落とし穴に落とされ土牢に閉じこめられるが、無事に脱出し再び由美と合流。津築権兵衛が九州に向かったことを知り、由美たちは海路で博多へ移動するのだった。

【クレジット】
監督 田坂勝彦
製作 武田一義
企画 高椋廸夫
原作 村上元三
脚本 犬塚稔
撮影 武田千吉郎
美術 太田誠一
音楽 渡辺浦人
出演 山本富士子
市川雷蔵
勝新太郎
阿井美千子
林成年

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.